

潜入・中之島24時

橋を渡る人の「街事情」マガジン

# 月刊島民

中之島

Vol.71 2014.01

●iPadアプリも登場!



ナカノシマ大学

「天神祭 1ヶ月  
カレンダー」

高島幸次

申し込み受付中!

潜入!

# 中之島

# 24時

そろそろ終電の時間ですよ



まだ帰るような時間じゃない



## 知られざる、オフィス街の夜の顔。

日中の中之島では、約3万5000人の人々が働いている(平成18年度中之島まちみらい協議会調べ)。その数字は真夜中になると、わずか750人ほどにまで減少。つまり夜の中之島にいる人は極端に少なくなるのだ。

この昼間人口と夜間人口の落差は、中之島を含む大阪市北区タナトツのトップ。マンションが増えたとはいえ、昼夜の人口差が大きい状況は変わらないだろう。ちなみに、夜間人口とはその地

で夜を寝泊まりする常住人口のこと。それに対して昼間人口は他地域から通勤・通学してくる流入人口を足し、他地域への流出人口を引いたものだ。しかし、そんな真夜中にこそ、1日の仕事のピークを迎える人も。高層マンションと共に年々増える住民の夜を守る人、工事現場などで夜を徹して業務を全うする人。ほぼ空白になったオフィス街で人知れず活躍する仕事人たちもいるのだ。

多くの島民が帰宅し、眠りにつつまれている頃、真夜中の中之島で働く人たちがいる。街の安全や快適な暮らしを支える、「縁の下の力持ち」たちの24時をレポートしよう。

取材文/江口由夏 大迫力(共に本誌)

大阪の中心・中之島で日夜、働いておられるみなさん、こんばんは。私たちは交番などで勤務する天満警察署の地域課員です。中之島地区をはじめ、天満警察署管内の治安維持にあたっていますが、今回、『月刊島民』の方々から取材の依頼を受けた機会に、改めて私たちの平素の取り組みを振り返ってみることにしました。

そこで感じたのが、私たちの活動が、管内の住民の方々や、地区内で日々活動されているみなさんのご支援、ご理解があってこそ、私たちの任務を全うできると再認識しているところです。より一層、みなさんとともにある警察でありたいと思っています。

そして、みなさんが安全な暮らしを享受され、また、安心してお仕事に取り組んでいただけますよう、私たち地域課勤務員はもとより、天満警察署員が一丸となり、職務に邁進していきます。犯罪「ゼロ」を目指して。

天満警察署  
地域課長代理  
辻尾慶太さん





# 街と人を守る最前線にて、 24時間警戒中。

## 天満警察署 大江橋交番



御堂筋のネオンを横目に、じつと交番前に立つおまわりさん。いつもお疲れさまです。

**24**時」と聞いて真っ先に思い浮かぶのはやはり警察。中でも、交番は住民との接点も多く、警察署と街の人々をつなぐ窓口として重要なポジションだ。島民もご存じ、大江橋交番の24時をのぞいてみた。

貫かれるのは、事件や事故を未然に防ごうという姿勢。「警ら」と呼ばれ

るパトロールは昼夜を通して行われ、不審者への職務質問や危険箇所の把握も兼ねている。飲食店が密集する北新地が近く、特に夜間帯はお酒に絡むトラブル事案や保護事案への対応も増えるため、自然と気持ち引き締まる。自転車にまたがり、雨の日もカッパを着て管内の隅々まで目を配る。

警らと同じく力を入れるのは、交番前における立番、駅や交差点などが集まる場所での検問だ。大きな事件はなくても、「自転車のライト、夜はちゃんとおつけてくださいね」などの声かけも、おまわりさんの日課である。

交番勤務は、本署である天満警察署の地域課が務める。午前9時からの1昼夜勤務を基本として、3グループが交代して活動。間隙が生じないよう、取扱事案や管内情勢の引き継ぎには特に注意を払う。交番内には仮眠設備も整えているが、やはり体力勝負。優しくてタフな警察官が活躍する場だ。



### 24時のヒミツ

交番の地域課員と外見上の違いはほとんどないが、深夜は交通課員も大忙し。地域課員から出動要請を受けると、終電後も中之島界隈へ急行。交通違反や交通事故の処理に対応する。

### 天満警察署 大江橋交番

島民の暮らしの安全を守る警察官の勤務地。府下には603箇所の交番がある。受け持ち区域内の家庭や企業を訪問して犯罪防止を呼びかけることも。5月から6月にかけては、企業から本署へ交通安全講習の依頼が集中する。現在建て替え中の天満警察署新庁舎は、2017年に完成予定。



左／人が少なくなるエリアや、中之島線の駅周囲を念入りに見回る。右／渡辺橋交番も天満警察署の所轄だ。

また、桜の通り抜け時や天神祭の際の雑踏事故・水難事故の予防も大事な任務。地域課長代理である辻尾慶太さんは「中之島は大阪の政治・経済・文化の中心地。南北には主要幹線が縦断、東西にも京阪電車・中之島線が横断する交通の要衝」と捉えている。

大江橋北詰の交番は、明治26年（1893）に開設。「交番は、そこを訪れる方々の利便性や身近さ、私たちが地域活動をしやすい位置を考慮して設置されています」と辻尾さん。オフィス街の中之島と歓楽街の北新地、昼夜で表情が逆転するこの一帯を、日夜見守り続けている。



宿直の記者、通称「泊まり班」のテーブルは編集長席の近く。「キヤップ役の中堅記者と若手記者たち数名の部隊です」と久我さん。



**中** 之島フェスティバルタワーの11階、朝日新聞の編集局は、24時を過ぎて不夜城のごとく明かりが灯っている。数時間後には世に出る朝刊づくりの現場だ。

夕方から夜にかけて出稿される記者の原稿を、各部のデスクが次々と手直し。さらに編集センターがレイアウトを組み、見出しを付ける。近畿圏以外にも配達エリアを持つ大阪本社では、印刷工場から遠いエリアほど締め切りが早い。中国・四国や北陸版から締め切りが押し寄せ、26時前に京阪神の都市部に配られる最終版が完成し、1日の紙面づくりはゴールを迎える。

最終版の掲載原稿がほぼ固まった24時を過ぎて、最新のニュースを載せるため、注意は怠らない。編集局の中央では、その日の当番編集長や各出稿部の当番デスク、宿直の記者が待機。更新されていくニュースをテレビやウェブで確認しながら、府内で大きな事

**24時のヒミツ**  
宿直の記者たちの強い味方が、同ビル12階にあるフェスティバルキッチン。昼間は社員食堂として機能し、夜間は勤務中外出できない宿直の記者に日替わりのお弁当を届けてくれる。

件や事故が起きれば、また現場や警察署に向けて飛び出して行く。

最終版が完成するのとほっと一息。他社の朝刊の到着を待つ。朝日新聞には載っていない記事をチェックするのが最後の仕事だ。「記者が朝一番から取材に動けるよう、宿直の記者全員が目を皿のようにして見ます」と社会部の久我誠さん。当番デスクを務める日は、自宅に帰り着くのは朝の4時前だ。

中之島について久我さんは、「取材や出張に行くにも、仲間と食事をすることも便利なエリア。大阪にはこれ以上働きたいのある地区はないですね」と話す。徒歩圏内には官公庁が多く、ターミナル駅も近い。「足で稼ぐ」新聞記者にとっては極めて魅力的なんです。

**朝日新聞大阪本社**

明治18年（1885）から中之島に拠点を置き、2013年に現在の中之島フェスティバルタワー内に移転。それを機にフロア構成が一新し、編集会議室を中心に各出稿部が放射状に配置され見通しが良くなった。「各部の意思疎通を図りやすくなりました」（久我さん）。

**日々ニュースを送り出す、記者たちの長い夜。**

朝日新聞大阪本社

取材時に完成した4月26日の朝刊。画像は京阪神で配られる最終版。記事を持つ地域性を考慮し、配布エリアによって掲載サイズや面を工夫する。

写真提供 / 朝日新聞 大阪本社



# 島民たちを見送り、迎える、 中之島の玄関口では。

## 京阪電車 中之島駅



駅のシャッターを閉め、照明を落とすと、中之島の夜が一気に深まるように感じられる。

### 24 時12分、中之島駅を出 発する最後の列車、各 駅停車宣言が发车する。 その40分ほど前から、乗り遅 れる乗客がいよいよ、駅員 が各所に立ち、運転士とも連 携しながら誘導する。

「確実に乗っていただくな  
いといけませんから、案内に  
も気を使います」と助役の潮見宏和さ  
ん。行き先によって最終列車の出发時  
刻が異なるため、天満橋駅で特急連絡  
はこれが最終など、最後の列車の2本  
前からこまめにアナウンスを行う。

列車を見送ると、駅構内に人がいな  
いかどうかを確認。その上で24時20分  
頃、地上入口のシャッターを閉める。  
その後、駅員室に戻って、券売機や改  
札など駅務機器の電源を落としていく。  
中之島駅は渡辺橋・大江橋・なにわ橋  
の3駅をサポートする役割もあり、モ  
ニターで確認しながら遠隔操作で他の

### 24時のヒミツ

夜間に行われる作業には停電を伴う作業  
も多い。そんな時に活躍するのがこのラ  
ンタン。キャンプなどアウトドアで使われ  
るイメージだが、意外に鉄道駅で  
も重宝されていた。



上／乗り遅れないよう、駅員が改札の外に  
立って案内。下／始発列車のために留め置  
きされる車両のチェックも夜の仕事の一つ。

駅の作業も手伝う。「各駅にも人はい  
ますが、ヒューマンエラーを防ぐため  
二重にチェックしています」（潮見さ  
ん）。

駅から乗客がいなくなり、一息かと  
思いきや、「夜間作業のための準備が  
あるんです」。鉄道は  
乗客のいない時間帯に、  
点検や補修のためのさ  
まざまな作業が行われ  
る。聞けば、その頻度はほぼ毎日。作  
業員にパトタッチして就寝できるの  
は26時を過ぎる時もある。



潮見さんの勤務は一昼夜交代制で、  
朝8時から翌朝の8時まで。始発に備  
えて起床し、4時50分頃、再びシャッ  
ターを開け、中之島駅の1日がまた始  
まる。

### 京阪電車 中之島駅

言わずと知れた中之島の玄関口。乗客の道案内、  
車椅子の方のお手伝い、併設のインフォステーション  
の管理などさまざまな業務を行っている。忘れ物の  
対応なども、ちなみに、一番多いのは傘で、中之島駅  
だけで20〜30本にも上る日もあった。



# 大阪の水防の一拠点。 災害時には24時間体制で。

## 東横堀川水門管理棟



モニター室では2人体制で監視。東横堀川水門管理棟内のいわば中枢にあたる。



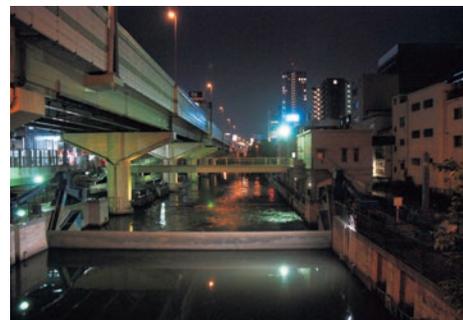
### 24時のヒミツ

大阪府では、「地下河川」の整備が進行中。南部と北部、2つの地下河川で、雨水を速やかに大きな川へ流し、海へ。水門の操作の他にも、知らないところで街の安全が守られているのだ。

**川**に囲まれた大阪の安全を陰で支える水門。その一つが、東横堀川にかかる高麗橋のたもとにある。東横堀川水門管理棟は、大阪市が管理する15河川の施設の中でも水防の要。ここ東横堀川水門のほか、道頓堀川水門など市内4つの水門をモニターで監視し、水位計測値を見ながら必要に応じて遠隔操作できる。通常時の勤務は午後10時までだが、ひとたび大雨・洪水などの警報や注意報が出れば、たとえ深夜であろうともすぐさま職員が駆けつける。

では、どんな操作を行っているのか？ 大阪市内の地盤は淀川・大和川の堤防の高さよりも低く、雨水が滞留しやすい。大雨になると下水道だけでは処理しきれなくなり、東横堀川や道頓堀川にも入ってくる。それを見越して、予報に応じてあらかじめ水位を低くしておくのだ。

「大阪市内の川は海の潮位変動にも



夜の10時前、高麗橋から夜の水門を眺める。さすがにこの時間に水門が開け閉めされることはあまりない。

大きく影響を受けます。干潮時はそれほど心配ありませんが、満潮時刻に近い時間に降り続けると注意が必要です」と担当者。最近ではゲリラ豪雨など予測が難しいケースも増えており、天気予報を注意して見ながら、臨機応変に対処する。徹夜になることもあり、昨年も数回泊まり込みになった日があった。

水門の開閉は、遊覧船が通る際などにも行われる。川を使ったイベントも増えており、「防災にとぎわい、2つの意味において責任とやりがいを感じています」と、職員一同気を引き締めている。

### 東横堀川水門管理棟

水門の開閉や点検、修繕関連業務を行う。水防や船の航行に関わるだけでなく、水位を一定に保つことや、河川水を取り込んで水質の浄化を行うなど、水門にはさまざまな役割がある。その他職員は、トンボリパーウォークの電気機械設備の点検など水門以外の維持管理業務も担っている。

# 眠らない(!?)街 北新地のアフター24。



中之島エリアには眠らないと言われる街がある。関西随一の高級飲食店街である北新地だ。クラブやラウンジなどがひしめき合うこの街で、真夜中に働く人たちの表情を追った。

取材文／石原卓(本誌川柳作家) 写真／内池秀人

北新地上通りの人気高級クラブ「CLUB The Courtel」の則包みゆきママを、真夜中の閉店間際に訪ねた。会計担当と来店したお客様の最終チェックや申し伝えをした後も、アフターと呼ばれるお客様と店外へお供をするという「お仕事」が。

「お客様とカラオケやバー、時には踊りに行ったりして、平均は朝の5時半くらいまで仕事をしています」。この日も、ビジネスでの大切なパートナーである黒服さんたちに、お客様からの申し送りなど連絡業務を終えた後には、アフターにお供する予約が入っているとか。



北新地 泣いても笑ってもさあ乾杯

お客様が気分良く楽しめているか、ご一緒しているホステスたちの帰路の手配をしたり、時には後輩の悩みにアドバイスをしたりと、朝日が昇るまで



お店前で最上級の笑顔で迎えてくれたみゆきママ。古参の黒服・平顧問、河野店長と共に。

## 1:05AM 国際モータープール

「1日に100台以上が利用されます。ピークは20時前後ですね。ここに車を駐めて飲みに出られて、帰りは運転代行を利用される方が多いです。最近、景気が上向いて来たんでしょうか、フェラーリなどの高級車がまた目立って来るようになりました」。特に高級車の運転には常にベテランが対応するなど、とても気を使っている、とスタッフ。この街のなくてはならないインフラとして、丁寧かつ迅速に街の住人たちの車を大切に預かっているのだ。



## 0:45AM ポール・ド・ジュネス

「喫茶は0時にラストオーダーで、深夜1時まで営業しています。ホステスさんのお誕生日やお店のお祝い事などで、この店だけでホールケーキの注文が1日60個を超えることもあります。最近のヒット商品はアップル鯛や動物の顔シリーズですね。お祝い事によく売れています」。と、北新地のご祝儀文化にもスイーツの波が押し寄せているようだ。



景気と共に車種がめまぐるしく変化する1階。まさに時代の合わせ鏡とも言える。



ママの仕事は延々と続く。  
北新地には「ナイト」と呼ばれる店舗が数多く存在する。クラブやラウンジの閉店後、客とホステスが流れて来て楽しむ店だ。池田栄二さんは30歳にしてナイト歴10年のベテラン。ここ「CafeBar11」の経営をオーナーから一手に任されている。

「やはりアフターのお客さんが多いですね。ほぼ毎日朝までやってます。完全に出来上がったお客さんが基本形ですから、接客では難しい場面もけっこうありますね」。深夜3時頃がこの店のピークだという栄二さんにとつて、取材に行った1時はまだ宵の口。自慢のターツの腕を磨いて客を待つ。

終電のある時間は、北新地時間ではまだまだ真つ昼間。終電の終わった深夜1時からこの街の本当の夜が始まる。そんな街の名物おじさんが、タクシー会社の配車係「S井のおっちゃん」その人である。深夜のタクシー常連客の



深夜の1時などまだ宵の口と笑う池田さん。朝方まで延々と盛り上げまくる日々。

やめとこう 顔伏せ歩く上通り

顔を1000人は憶えているという伝説の人だ。

「そんなには憶えてませんよ(笑)。とにかくお客さんに早く車を回してあげたいからね。ピークの2時頃はてんでこ舞いですわ」と、明るく笑う。



無線と携帯電話を駆使して、車両の所属する営業所と、客の帰宅エリアをベストマッチングさせていく。中には経由地を指定する客も多く、運転手の勤務時間なども考慮して効率的な配車を常に

目指しているという。特に交通規制の多い北新地では、予約車両の待機位置の指定など、気を遣う場面は多い。

取材の途中、「おっちゃん、箕面！」というほろ酔い客を、1分も待たせずに車に乗せる伝説のS井さんの職人技を見たのであった。



客はもとよりドライバーからの信頼も厚い。黄色いタスキと携帯電話がトレードマーク。



1:48AM  
うどん[香川]

北新地の中でも大人気の四国うどんの店は、この時間から何度目かのピークを迎える。仕事終わりのホステスや黒服、ちょっとしたアフターのお店として、あるいは締め一杯と、用途も多様だ。深夜の行列も珍しくない北新地の超有名店だ。この日もホステスと酔客が仲良く日本酒とおでんを食べていた。



2:01AM

喫茶[グリーンピース]

昼の表情とはがらりと変わる純喫茶の名店。深夜でも軽い食事ができることから、仕事帰りのホステスやミーティングを兼ねた黒服たちでにぎわい出す。閉店は午前3時。淡々とこの街を見続ける街の名脇役だ。

取材後記

北新地はハレの空間である。その裏側にしっかりとケの中で生きる人が在る。夜が更けるとそれらが渾然一体となつて、川柳のネタがどんどん出てくる。愛すべき大キライな街が北新地なのである。



祝!

# 「日本医療小説大賞」受賞記念企画 久坂部羊さんインタビュー&スペシャル書店フェア



## 「島民作家」に導かれ、医療の本を読んでみる。

このほど、作家の久坂部羊さんが、『悪医』で日本医療小説大賞を受賞した。40回の長きにわたって連載をしてくださった久坂部さんの朗報となれば、月刊島民でもお祝いをしないわけにはいかない。インタビューと、書店と連動したスペシャル企画をお届けしよう。

文／松本 創本誌



インタビューは堂島川沿いの[ブルックリン・ロースティング・カンパニー]にて。

患者にとって本当に良い医者とはどういう存在か。治る見込みがないのに延命だけを図るのは良い医療と言えるのか――。

医者と患者の終わりなき相克を精妙に描いた久坂部羊さんの『悪医』（朝日新聞出版）が、第3回日本医療小説大賞を受賞した。久坂部さんといえば、本誌やナカノシマ大学でおなじみの島民作家。初めての文学賞受賞をまずは言祝ぎたい。

「自分としては愛着のある好きな作品ですが、強力な候補作が並ぶ中、派手なエンターテインメント性があるわけでもなく、賞は難しいだろうと思っただけです。

でも選考会の行方は気になるもの。終了予定時刻になっても連絡がないとジリジリしてくる。1時間が過ぎ、こっちから編集者に電話したら『まだやってます』と冷たく切られて……。勤務するクリニックで待ってたんですが、もうあきらめて家に帰ろうと電車に乗った時に電話が鳴りました。いや、ホ

ッとしましたね」

実は久坂部さん、純文学を志向していた頃に4回も新人賞の最終候補に残り、同じような思いを経験している。「何度やっても嫌なものです」と苦笑しつつも、「医療をテーマとした時からこういうものを書きたかった」という作品で評価を得たことで、小説家として新たな地平を切り開いてくれるのではないかと期待は高まる。

### 受賞作『悪医』の描くもの。

さてしかし、『悪医』という小説は、ご本人の弁の通り、そんなにスカッと痛快な話では全然ない。異能のスーパー医師が活躍するわけでもなければ、恐怖の未確認ウイルスも、画期的な新



『悪医』  
朝日新聞出版 / 1,836円



療法も出てこない。医療の現場で日常的に起こり得る、きわめてリアルな医師と患者の心理ドラマである。

主人公は2人。早期の胃がん手術を受けたものの、再発・転移した52歳の患者・小仲。その手術を担当した35歳の外科医・森川。「医師として患者には誠実でありたい」と願う森川は、小仲にもう治療法がなく、3カ月の余命を有意義に過ごすべきだと告げる。これが小仲の逆鱗に触れる。「死ねと言われたも同然だ!」と。

医師の考える「誠実」と、患者の求める「誠意」がすれ違うところから物語は始まってゆく。

あくまで治療の可能性に賭ける小仲は病院を転々とし、いわゆる「がん難民」となる。大病院で断られ、悪徳病院につけ入れられ、免疫細胞療法にすがる。ネットで情報を集め、同じ境遇の患者のブログに涙もする。抗がん剤の副作用に苦しみ、身も心も衰弱してゆく描写はすさまじいばかりだ。

一方の森川は、医師の論理だけを振りかざす先輩医長たちに違和感を抱き、経験豊富な外科部長に教えを請う。そして、さまざまな患者やその家族と接し、自分の妻とも対話を重ねながら、小仲に対して何をどう伝えるべきだったのかを考え続ける。

苦しみ抜いた2人は再び出会うことになる。思わぬ形で――。

## 2人のモデルは「自分」。

月刊島民の読者なら、どこか思い当たらないだろうか。

そう、これは本誌での連載をもとにした『ブラック・ジャックは遠かった』(140B)に久坂部さんが綴った若かりし頃の「理想と現実」の煩悶がモチーフとなっている。筆者にはそう読める。それを裏付けるように久坂部さんは言うのだ。

「森川は30代半ばの自分がモデルですね。ズブの新人ではなく、医療の現実もある程度わかりながら、ナイーブさを捨てきれない。一方の小仲も、実



『ブラック・ジャックは遠かった 阪大医学生ふらふら青春記』(140B/1,512円)

は私自身のもう一つの姿なんです。小説も書かず、医者にもならなかつたら、こんな人間になつていたかも……」

医師の論理と患者の思い。延命治療への懐疑。氾濫する医療情報への警告。高すぎる医療への期待値……。この小説は、久坂部さんがさまざまなところで書き、語ってきた問題が見事に物語に編み上げられている。それゆえ、医療エンターテインメントというより、



『悪医』にはテレビドラマ化のオファーも来ているそう。お茶の間で見られる日も近い!?

生命と医療をめぐる普遍的な人間ドラマになっているのだ。

## おもしろい、医者と医学の本。

日本医療小説大賞は「医療や医療制度に対する興味を喚起する小説」が対象だ。確かに、今ほど医学や健康に関する情報が求められ、玉石混交出回っている時代はないかもしれない。

では、何を読むべきか。専門家に聞いてみようというわけで、久坂部さんと盟友(悪友?)の仲野徹・大阪大学医学部教授に選書をお願いしたのが、別稿で案内するフェアである。2人がそれぞれ選んだ15冊のテーマは「おもしろい、医者と医学の本」。久坂部さんの特にお勧めが左ページに挙げた3冊だ。

近未来SFの金字塔とされる『時計じかけのオレンジ』は、久坂部さんに言わせれば「人間改造の恐ろしさ」と、医療の裏に政治ありという構造が描かれる医療小説「でもある。『恍惚の人』は、認知症介護の問題を先取りした昭和の大ベストセラー。『フロイト FOR BEGINNERS』は、精神分析の祖が唱えた学説をイラストを使ってわかりやすく解説した入門書。

一筋縄では行かぬ選書のおもしろさと奥深さが、久坂部さんが常々語る、医療の「光もあれば影もある」現実を伝える。『悪医』が描き出した世界と同じように。

久坂部羊  
×  
仲野徹セレクト

## 『月刊島民』&書店の連動企画 『おもしろい、医者と医学の本』フェア

『医療小説』というジャンルがすっかり定着し、週刊誌では毎週のように最新の治療法が話題になる今。  
はっきり言って情報供給過多な今だからこそ、信頼できる内容で、かつ「読んでおもしろい」本を厳選!

### 久坂部羊セレクト

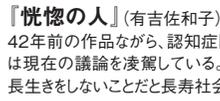
※写真は久坂部羊さんの私物。



#### 『時計じかけのオレンジ』

(アントニイ・バージェス)

条件反射で人間を造り替えられるか。人体実験の材料になった不良少年が巻き込まれる皮肉な遍歴。医療と政治が結びつく現実を暗示する予言的SF。



#### 『恍惚の人』(有吉佐和子)

42年前の作品ながら、認知症問題への冷徹な視点  
は現在の議論を凌駕している。認知症を避けるには  
長生きをしないことだと長寿社会に警鐘を鳴らす。



#### 『フロイト FOR BEGINNERS』

(リチャード・アップピグナッセイ)

地動説、進化論に続く人類第3の屈辱、「無意識」の  
存在とそれによる支配を説いたフロイト。その生涯と  
理論をイラストで解説した至高の1冊。

#### 『夏の災厄』(篠田節子／文春文庫)

今なお新鮮さを失わない医療パニック小説の名作。新型疫病の恐怖が、いかに市民、  
行政、医療者を混乱させるかがわかる1冊。

#### 『明日の記憶』(荻原浩／光文社文庫)

若年性認知症に襲われる恐怖を描いた山本周五郎賞受賞作、兼直木賞候補作、  
兼木屋大賞2位作品。いつ訪れるかしれない認知症の怖さがわかる1冊。

#### 『閉鎖病棟』(帯木蓮生／新潮文庫)

医療小説の大御所が描く精神科病院の哀しき実態。涙なしには読めない感動作。

#### 『ドグラ・マグラ』(夢野久作／角川文庫)

精神科医療の矛盾、不条理をベースに、伝承的奇譚の世界を妖しく美しく描いた怪作。

#### 『わたしを離さないで』(カズオ・イシグロ／ハヤカワepi文庫)

臓器移植のドナーになるために、人為的に生まれさせられた少年少女の哀しき運命。  
進みすぎた医療がどんな世界を造るかを垣間見せてくれる文芸SF。

#### 『アルジャーノンに花束を』(ダニエル・キイス／早川書房ダニエル・キイス文庫)

知的障害者の障害を先端医療が取り除けばどうなるのか。医療はほんとうに人間を  
幸福にするのか。シビアで哀しい問いを突きつける感動SF。

#### 『死を求める人びと』(ベルト・カイゼル／角川春樹事務所)

オランダで実際に安楽死を担当していた医師による実録小説。患者側から語られるこ  
この多い安楽死を、安楽死させる側から語った傑作。笑うに笑えないエピソードが満載。

#### 『患者よ、がんとうなうな』(近藤誠／文春文庫)

「がん放置療法」を進める近藤誠医師の「がんもどき理論」第1作。反証しにくい仮説  
で、現代のがん治療の弱点、盲点を突きまくる異端の書。

#### 『そんなバカな! 遺伝子と神について』(竹内久美子／文春文庫)

「利己的遺伝子」の提唱者リチャード・ドーキンスの説を、面白くかつわかりやすい例  
で解さほぐしたユーモア書。

#### 『安楽死のできる国』(三井美奈／新潮新書)

安楽死が合法化されているオランダの実態レポート。彼の国の人がいかに精神的に  
自立しているかがわかる教養書。

#### 『解剖医ジョン・ハンターの教養な生涯』(ウェンディ・ムーア／河出書房新社)

研究と称して、巨人症患者の遺体を盗んだり、自分の性器に性病患者の膿を塗りつ  
けて梅毒に感染したりした18世紀のマッドドクターの生涯をたどった伝奇書。

#### 『大往生しなきゃ医療とかかわるな「自然死」のすすめ』(中村仁一／幻冬舎新書)

キャッチフレーズは「死ぬのは「がん」に限る。ただし、治療はせずに」。コペルニクスの  
転換で、死に対する医療の無力を赤裸々に語った快書。

### 仲野徹セレクト

#### 『どくろマンボウ航海記』(北杜夫／新潮文庫)

生まれて初めて読んだ医学関係本はこれだった。北杜夫、若き船医として活躍。

#### 『最後の授業 心を見る人たちへ』(北山修／みすず書房)

「あの素晴らしい愛をもう一度」、きたやまおさむさんも、もう定年を迎えられました。

#### 『羊の歌』(加藤周一／岩波新書)

知の巨人・加藤周一、若き医学生時代の本。いつまでも色あせない名著。

#### 『ブラック・ジャックは遠かった』(久坂部羊／140B)

こんなバカバカしい医学生時代もありえたという話。加藤周一の爪のアカでも飲んで  
はしかった。

#### 『ブラック・ジャック』(手塚治虫／秋田書店)

久坂部羊には遠すぎたけど…。つて、ほんまに目指してたんかよ。

#### 『世にも奇妙な人体実験の歴史』(トレヴァー・ノートン／文藝春秋)

医学の歴史は人体実験の歴史でもある。わたしの書いた解説が朝日新聞書評欄で  
出久根達郎さんに絶賛されたのが自慢。

#### 『病の皇帝「がん」に挑む 人類4000年の苦闘』(シッダールタ・ムカジー／早川書房)

がんの歴史。これさえ読めば、がんのすべてがわかると言ってもいいほど。ピューリッツ  
アール賞受賞の快作。

#### 『医者現場でどう考えるか』(ジェローム・グルーブマン／石風社)

医師はいかにして判断を誤るか。こういことについての本を、ハーバードの一流研  
究者が書く、というのが、アメリカのすごいところだ。

#### 『信州に上医あり 若月俊一と佐久病院』(南木佳士／岩波新書)

芥川賞作家、南木佳士は、どの小説も好きだけれど、あえてこの一冊。ひとつの医療  
体系を作り上げた国手・若月俊一の評伝。

#### 『村で病氣とたたかう』(若月俊一／岩波新書)

その信州の上医、若月俊一が民衆とともに、いかにして佐久総合病院をつくり上げて  
いったかの記録。

#### 『生きがいについて』(神谷美恵子／みすず書房)

美智子皇后の若き日に相談相手もつめた神谷美恵子の代表作。ハンセン病の療  
養所での診療を通して、生きがいについて考える。

#### 『死ぬ瞬間 死とその過程について』(キューブラー・ロス／中公文庫)

人間、いつかは死にます。死をいかにして受容するか、をはじめて解き明かした古典的名著。

#### 『安楽死を選ぶ オランダ・「よき死」の探検家たち』(シャボットあかね／日本評論社)

オランダでは、安楽死がこんなに広く認められていることに驚きを感じるはず。日本では  
ちょっと難しいでしょうね。

#### 『私がしたことは殺人ですか?』(須田セツ子／青志社)

「川崎協同病院事件」という安楽死をめぐる事件があった。その当事者医師による著  
書。これで有罪判決ではやりきれないだろう。

#### 『白い巨塔』(山崎豊子／新潮文庫)

医学・医療本といえば、これは絶対はずせません。ちなみに、これはフィクションであ  
って、大阪大学のお話ではありません。

なかの・とある 大阪大学大学院生命機能研究科長。再生医療にも通じる幹細胞  
学の第一人者。平成24年度日本医師会医学賞を受賞。最近の「STAP細胞」騒動  
に関しては、テレビや新聞で頻りにコメントを求められる。5月に新刊『エビジェネティク  
ス』(岩波新書)を上梓。

#### 開催店舗

ジュンク堂書店 大阪本店

ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店

MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店

紀伊國屋書店 グランフロント大阪店

紀伊國屋書店 本町店

#### 開催期間:6月2日(月)より約1ヶ月

※期間や本の種類・数はお店によって異なります。

# 笑う落語の大阪 第三回 高島幸次

中之島が登場する落語は数多いが、夕涼みの舞台として描かれる中之島は特に魅力的だ。

古典落語「遊山船」では、喜六・清八が難波橋で夕涼みを楽しむ。橋のたもとでは、冷やした西瓜や、枇杷葉湯（「ピワ葉の煎汁」などの夜店が並び、川面には数えきれないほどの遊山船（船遊びの屋形船）が音曲を響かせる。その遊山客に近づき、商売しようとする茶船も数知れない。昭和初年になっても「落語」新内「花火屋」「八百屋」「果物」「善哉屋」「夜鳴きうどん」などの茶船が確認できる。

## 落語に浮かぶ中之島

現代の中之島は、その東端が天神橋の上流側に突き出しているが、「遊山船」の時代には、天神橋下流の難波橋のさらに下流に東端があった。しかも、当時の難波橋はいまの場所ではなく、一筋西（下流側）の「難波筋」という筋に架っていたからヤヤコシイ。明治45年（1912）に市電を延伸する際に埋筋に架け直したのだ。だから、現在の中央公会堂あたりが、当時の東端だったと考えていい。

上方らしい落語「船弁慶」では、喜六・清八が女房に内緒で難波橋上流で船遊びに興じる。偶然、喜六の女房お松も夕涼みに出かけて難波橋上から船上の夫を見つける。

怒ったお松は小舟で漕ぎ寄せるが、喜六は清八の手前もあり、お松を川へ突き落とす。しかし、幸いなことにそこは浅瀬で、立ち上げれば膝下くらい。ここで、落語はご都合主義だ、と責めてはいけない。明治期の地図を見ると、難波橋の上流に大きな砂洲が見える。お松は、この砂洲形成期の浅瀬に落ちたのだ。

落語はなかなかのものだ。当時の風俗や過去の地形まで知ることができる。落語でなければ、枇杷葉湯なんて清涼剤の存在は知らないままだ。中之島が成長していったなんて考えもしない。それでも、あえて本音を言おう。落語は勉強になるなんて考えないほうがいい。楽しければいいのだから。

6月25日（水）の「天神寄席」のテーマは「天神祭」。江戸時代の船渡御が難波橋北詰から乗船していた様子も語られる。

たかしまこうじ  
大阪大学招聘教授、追手門学院客員教授、大阪天満宮文化研究所研究員などを務める。

## 毎月25日の天満天神繁昌亭の名物企画、「天神寄席」に行こう！

天満天神繁昌亭では、土地を提供している大阪天満宮に敬意を表し、毎月25日の夜席を「天神寄席」と銘打ち、さまざまな企画を開催している。新シリーズでは、落語だけでなく、高島幸次先生や月替わりの豪華なゲストスピーカーによるトークも加わる。6月は、1ヶ月後に控えた天神祭の楽しみ方をたっぷり解説する。

## 6月のお題は「天神祭」 6月25日（水） 「もうすぐ天神祭だ！」



- 6月のお題は「天神祭」
  - 6月25日（水）
  - 6月のお題は「天神祭」
  - 6月25日（水）
- ネタ／桂弥太郎「播州巡り」  
笑福亭たま「菅原君の祟り」  
桂三風「船渡御今昔生々中継」  
桂枝三郎「天神祭」  
桂春之輔「天満の白狗」  
鼎談／桂春之輔  
高島幸次  
（大阪天満宮文化研究所）



トリはご存じ桂春之輔師匠。独特の間と雰囲気の良い味。

**ナカノシマ大学で前売り券を買うとお得！**

「天神寄席」の前売チケットをナカノシマ大学で買うと、1800円で入場できます。いつものナカノシマ大学と同じく、ウェブ、ハガキ、FAXでお申し込みを受付中。

開催日／6月25日（水）  
時間／6:30PM（開場6:00PM）  
受講料／1800円（通常・前売2000円／当日2500円）  
支払い方法／当日、現地にて精算  
販売期間／6月24日（火）7:00PMまで  
※ナカノシマ大学で販売するチケットは前売り券のみです。当日券の販売はありません。

●申し込み方法はP13の募集要項を参照してください。  
●問い合わせ ☎06-4799-1340



ナカノシマ大学  
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の  
懐徳堂  
プロジェクト

当日だけが  
祭じゃない!



◎今月の授業

# 【天神祭】

2014年7月講座

## 「天神祭 1ヶ月カレンダー」

講師／高島幸次  
(大阪天満宮文化研究所)  
&天満天神御伽衆



陸渡御や船渡御を見るのもいいけれど、その日だけが天神祭ではない。  
祭を語るスペシャリストたちは、あの手この手で祭を楽しんでいる!?

毎年、7月25日は天神祭。今年は本宮が週末の金曜日とあって、いっそう盛り上がりを見せそうだ。月刊島民でもここ数年、天神祭の楽しみ方をお伝えしてきたが、その中で発見したのは天神祭が「日常」の祭であるということ。街や人の生活と深く関わっており、7月24・25日の2日だけが天神祭ではない。それどころか、実はもっと前から天神祭は始まっていると言ってもいい。

今回は天神祭研究の第一人者である高島幸次先生に加え、高島先生が祭のボランティアガイドとして養成している「天満天神御伽衆」の方々にもご登場いただき、地元の人や祭関係者以外にはあまり知られていない楽しみ方をご紹介します。関連する行事やイベント、祭の前のお祭りの境内の様子など、天神祭が約1ヶ月をかけて、じっくりと味わうものであることを知ろう。いわば天神祭を楽しむため

のカレンダー。これで天神祭は「眺めるだけ」のものではなくなるはずだ。

### 天満天神御伽衆って?

高島幸次先生が養成する天神祭のボランティアガイド。平成7年(1995)の天神祭に正式デビュー。毎年の船渡御には、奉拝船に乗って、行き交う船の説明や、祭礼の歴史について説明している。メンバーになるには十数回の講座を受講する必要があり、ボランティアとは言え知識は十分。祭関係者と観覧客をつなぐ存在。



募集要項	<p>「天神祭 1ヶ月カレンダー」</p> <p>日時／2014年7月4日(金) 7:00PM～8:30PM頃(開場6:30PM～)</p> <p>会場／大阪市中央公会堂 小集会室</p> <p>受講料／2,000円</p> <p>定員／80名</p> <p>主催／ナカノシマ大学事務局</p> <p>協力／関西・大阪21世紀協会</p>	<p>お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。</p> <p>〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 「ナカノシマ大学7月講座」受付係 FAX.06-4799-1341</p> <p>※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。 ※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。</p>
------	---	--

ナカノシマ大学の最新情報は  
<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは  
こちら!→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340  
(ナカノシマ大学事務局)



ナカノシマ大学初登場、「浪速のカエターノ」ことマルタニカズさんのライブでは、クラブの客で作曲家の浜口庫之助が店のために作った「リバーサイド」という曲も。テープしか残っていなかったものをオリジナルアレンジで披露し、当時の雰囲気をも再現した。

4月の穏やかな土曜日、中之島のリバーサイドビルディングで開催されたナカノシマ大学「クラブ・リバーサイド」をもう一度。昭和38年（1963）までこの場所にあったサロン「クラブ・リバーサイド」のように、水辺で人々が気持ちよく過ごせる空間の再現をトークとライブで演出した。

ナカノシマ大学は1日だけの限定企画だったが、ビルのオーナーである桐生幸之介さんは、水辺のサロン復活を



計画中。支配人としてその場を切り盛りしてくれる人を募集しているという。「昔は土佐堀川の船から直接出入りしたり、いろいろな業界の人の溜まり場になっていました。実はナカノシマ大学を開催したのは、復活のための人材

# 水辺のサロンを復活させる 支配人、募集中。

取材文／大迫力（本誌）

発掘につながらないかという意図もあったんです」

仲介業者として携わる水辺不動産の末村巧さんも、桐生さんの心意気をサポート。「クラブの歴史を知ってもらった上で、価値観を共有でき、これまでの文脈に沿った使い方をしてもらえる人に出会えれば」と話す。

窓の外に土佐堀川を見下ろす絶好の立地。支配人として、人が出会い、また新たな何かが生まれる場所をつくる。そんな「島おこし」に興味のある方、ぜひ一報を。



リバーサイドビルをはじめ、大阪のビルと水辺のいい関係を写真たっぷりに紹介してくださったBMCのみなさん。



BMCのトーク中、写真で振り返りながらかつてのサロンの様子について話すオーナーの桐生さん。



長崎励朗さんは「教養主義」をキーワードに、中之島と宝塚を鮮やかにリンクさせた。

## リバーサイドビルディング 「クラブ・リバーサイド」支配人募集

業態にかかわらず、かつてのサロンのように人が集まる場所にすることが理想。ビルの歴史や水辺のロケーションをうまく活かした雰囲気に共感した人は、まずは相談してみよう。

住所／大阪市北区中之島3丁目  
面積／約100㎡  
賃料／応相談  
問い合わせ ☎06-6314-6408（水辺不動産）  
info@minfudo.com

# 蔵屋敷の新解釈につながる、遺構が発掘された。

江戸時代の中之島には、オフィスビルの代わりに蔵屋敷が建ち並んでいたというのは、中之島を語るうえで

の常識。物資の集積地であった19世紀の大坂には120もの藩の蔵屋敷があり、中之島やその対岸には90の諸藩が拠点を置いた。大阪市立科学館の北側にあった広島藩や、リーガロイヤルホテルの前庭に碑が残る高松藩の蔵屋敷が有名か。

しかし、詳しい構造などの謎も多く、中之島では現在進行形で発掘調査が行

げされた物資を運び込むための通路も発見された。

「これらは18世紀の後半頃に建設されました。明治維新を経て、改築や増築を繰り返しながら、民間の倉庫会社で使われていたようです」と、現地で行われた説明会で語る、大阪市博物館協会大阪文化財研究所の市川創さん。「江戸時代の絵図や文献資料から、19世紀前半までは矢島藩（秋田県、幕末には鹿島藩（佐賀県）が使用していたと推測されます」。

この西藩は、西国の雄藩・広島藩などに比べると中小藩。所有した蔵の大きさは雄藩に負けていないが、遺構には他藩の蔵屋敷が備えている藩主の居住部分が無かった。つまり、「屋敷」よりも「蔵」の役割を担っていたという。今の中之島にも中小のビルがひしめき合うように、蔵屋敷にもいろいろな種類があったのではないかと考えられるわけだ。

石 積みまの周りを歩いてみれば、かなり大きな建物だったと実感で

きる。「これが井戸の跡です」「外から見える石積みには綺麗な石が使われています」など、市川さんの解説は続く。専門家だけでなく、好奇心いっぱい島民から遠方の遺跡好きまで、説明会に集まった多くの人々が発掘者直々のガイドに耳を傾けた。

「ついこの間まで建ってたんやけどねえ」と、近所から駆けつけた年配のご婦人。市川さんいわく、この蔵は昭和40年頃まで現役だったらしい。「取り壊される時に、家紋が付いた瓦を記念に1枚もろたんです。お花を生けるのに、ちょうどいい窪みでね」。こんなことなら写真でも撮っとけば良かったね、とうなずき合うご近所さんたち。昭和40年と言えば、つい50年ほど前。蔵屋敷というのは、そんなに昔話でもなかったようだ。

われている。高層マンション建設地として検討されている中之島6丁目でも、今年1月から調査が行われていた。場所は、あみだ池筋を挟んだグランキューブ大阪の西向かい。なんと、蔵屋敷の理解をさらに深める、重要な手がかりが出たという。

見つけたのは、幅約8m・長さ約35mの3〜4段の石積みが4棟分。建物の基礎にあたる部分だ。その堅牢さから、建物は土蔵の役割を持ったとみ

られ、蔵と蔵の間には堂島川から荷揚



貴重な発見に、人々は興味津々。現存していたのが遠い昔でもないだけに、「空襲の時は無事やったんでしょうか？」など、年配の方々からは実体験に沿った質問も飛び出た。「まだ調査していない謎も多いので、思いついたことはアドバイスくださいな」と、ギャラリーに声をかける市川さん。

2014年6月1日発行



## 水辺のプログラムが より身近になった 「水の都の夕涼み」

中之島のロケーションを活かして毎年秋季に開かれていた「水都大阪フェス」を継承し、今年には「水の都の夕涼み」として、初めて夏季開催されることに。「もっと水辺で過ごす日常感」と、イベント型だったプログラムもリニューアルされ、今回は島民の暮らしに寄り添った週末マルシェが中心となった。



昨年、フェスで人気だったプログラムは、規模を拡大して引き継がれる。たとえば、大阪近郊の野菜や名産品がそろった中之島グリーンマーケットや、外国人観光客に人気の一点ものが見逃せない手作り市。

本の販売や貸し出しをしてくれるブックフェアは、その場で思い思いに本が読める気軽さが好評だ。

また、市役所南側には特設のオープンテラスも登場し、食事を楽しみながら夕涼みできるようなっている。観光客だけでなく、中之島に住む人や働く人たちが気軽に歩き来できる生活空間の一部となりそうだ。(江口由夏・本誌)

### 「水の都の夕涼み」

期間／6月6日(金)～9月5日(金)  
時間／オープンテラス11:30AM～11:00PM※プログラムによって異なる  
会場／中之島公園ほか 料金／無料(一部有料プログラムあり)  
主なプログラム／中之島グリーンマーケット(市役所南側プロムナード):  
期間中の第1と第3金・土曜、7月18日(金)～21日(祝・月)  
手作り市(大阪市中央公会堂前広場):  
期間中の第1金・土曜、7月20日(日)、21日(祝・月)  
ブックフェア(大阪市中央公会堂前広場):期間中の第3金・土曜  
問い合わせ ☎06-6444-3110(一般社団法人水都大阪パートナーズ)  
<http://www.suito-osaka.jp/yusuzumi2014/>

## 郷愁と想像力が生んだ作品が集う。 国立国際美術館の現代アート展

古典的な手法にとらわれな  
いことから、モチーフや表現  
方法の自由さが魅力の現代ア  
ート。作家個人の想像力から  
生まれる、一見難解に思える  
テーマを考察するのも楽しみ  
のひとつだ。

国立国際美術館では、「ノス  
タルジー&ファンタジー 現  
代美術の想像力とその源泉」  
と題し、日本の現代美術家10  
組の世界観の根っこを解き明  
かす特別展が開かれている。  
世界的に有名なアーティスト・  
横尾忠則氏の絵画作品や、淀  
川テクニクの立体作品を始

め、テーマに沿った絵画や彫  
刻が集まった。

ノスタルジー(郷愁)とフ  
アンタジー(想像力が生む世  
界)というキーワードは正反  
対のように思えるが、実は表  
裏一体。「作家の子ども時代の  
記憶や、故郷への想いが独特  
のイメージを生み、芸術作品  
となっているのでは?」と考  
えることで、作品の見方も変  
わってくる。現代アートがも  
てはやされるのは、現代人が  
共通して持っている郷愁が刺  
激されるからかもしれない。  
(江口由夏・本誌)



横尾忠則(記憶の鎮魂歌)1994年 作家蔵

### 国立国際美術館 「ノスタルジー&ファンタジー 現代美術の想像力とその源泉」

期間／9月15日(祝・月)まで  
会場／地下3階展示室  
入場時間／10:00AM～4:30PM  
(金曜は～6:30PM)  
※入館は閉館の30分前まで  
休館日／月曜日  
(7月21日・8月11日・9月15日を除く)  
7月22日(火)  
入館料／大人900円・大学生500円  
問い合わせ ☎06-6447-4680

棚田康司(現れた少女)(部分)  
2011年 作家蔵  
撮影:宮島健  
courtesy of Mizuma Art Gallery



淀川テクニク(宇野の子)  
2010年  
courtesy of the artists  
and Yukari Art  
※写真とは別の新作を出品





**中之島倶楽部  
ローズカフェ**  
期間 / 6月30日(月)まで  
営業時間 /  
9:30AM~6:00PM  
定休日 / 第4火曜日  
メニュー /  
ローズソーダ500円、  
ローズティー500円、  
アフタヌーンティーセット  
(2:00PM~)1,580円など  
問い合わせ  
☎06-6233-3580  
(中之島倶楽部)

中之島倶楽部といえば、オムライスで有名な大阪市中央公会堂にあるレストラン。レトロな店内で過ごすひとときが人気だが、中之島公園のバラの見頃に合わせた「ローズカフェ」が話題になっている。今年初の試みとして、地下に広がる開放的なサンクンガーデンにバラソル席をずらりと設置。合わせて、バラにちなんだメニューも登場した。バラのシロップを使った淡いピンク色のローズソーダは、見た目の可愛らしさが人気だ。

## バラの季節ならではのカフェが中央公会堂に期間限定オープン



午後2時からの限定メニューであるアフタヌーンティーセットは、サンドイッチやバラのゼリーが並ぶスタンドに、ローズティーが付く。

たまたまここを見つけたと話すのは、堺市から来た女性3人組。「川の近くだからか、風が気持ちいいですね」と、思わず居心地の良さに弾んだ声だ。こうした反響に、期間限定オープンも1ヶ月延長に。7月からはビールとバルメニューが楽しめるスタイルに変わるの、こちらも楽しみにしたい。(江口由夏/本誌)

島民3月号でご紹介した、中之島パンクスの「みんなの牡蠣小屋」に続く「みんなのシリーズ」として、「みんなのB.B.Q&ビアガーデン」がオープンしている。

場所は、中之島パンクスの水上デッキ。目の前に流れる川、遮るものがない夜空、敷き詰められた緑の芝。オフィス街の真ん中ながら、ロケーションははっちりバーベキュー向け。食材をオーダーすればあとは焼くだけなので、バーベキューにありがちな面倒な準備や後片付けが一切いらず、手ぶらで来店できるのが

天満という地名の由来は夜空に星々が満ちる様子だとされ、古くから星を祀る信仰が伝わってきた。7月7日、星に願いを託して疫病退散や日々の平安を願う七夕行事も古来より行われてきたようだ。これを受け継ぎ、現代的な

## 大川に出現する「天の川」は、願いを託してみよう



天の川プロジェクト®

新しい演出によって行われるのが「平成OSAKA天の川伝説」。LEDを光源とする「いのり星」を天川に放流し、地上に天の川を出現させる。すでにおなじみの行事だが、今年はずいぶん短冊の付いた「いのり星」放流券を購入し、願

いを託してみよう。こちらは有料観覧エリアの入場券でもあるので、美しく輝く川面をゆっくり眺めることもできる。チケット販売開始は今年7日予定。



## 中之島パンクス内で準備いらずのバーベキュー



嬉しい。週末のアウトドア気分を、仕事帰りのスーツ姿で味わうことができる。ひと工夫されたメニューに、も注目。『はじめ人間ギャートルズ』のマンモス肉を彷彿とさせる「マンガ肉」と、みぞれソースやガーリックバター、フレンド塩など約20種が並んだソースバーはぜひ試してみ

**みんなのB.B.Q&ビアガーデン**  
期間 / 9月30日(火)まで  
営業時間 / 5:00PM~10:00PM(土・日・曜  
0:00PM~)※雨天中止、貸切の場合あり  
メニュー / スターターセット  
(肉と野菜の盛合せ)1人前2,500円、  
マンガ肉1,200円、生ビール600円など  
問い合わせ ☎080-9459-0339  
※予約可、  
来店前の空席確認がおすすめ

たいところ。ビールが進みすぎて困ってしまう季節がやってきた。(江口由夏/本誌)

**平成OSAKA天の川伝説2014**  
日時 / 7月7日(月)7:20PM~9:00PM  
会場 / 天満橋~北浜 ※雨天決行、荒天中止  
料金 / 有料観覧エリア入場いのり星放流券(短冊付)  
前売1,000円 当日1,500円  
チケット販売開始予定 / 6月7日(土)~  
問い合わせ ☎06-7507-2006  
(平成OSAKA天の川伝説推進会議事務局  
関西・大阪21世紀協会内)  
◎前売り券はチケットぴあ、ローソンチケットでも販売予定  
チケットぴあ  
受付電話:0570-02-9999 Pコード:626-813  
ローソンチケット  
受付電話:0570-084-005 Lコード:57175  
**大阪七夕バル**  
日時 / 7月5日(土)~7日(月)  
会場 / 天満橋、北浜、天神橋周辺の飲食店約50店  
料金 / 前売1,800円 当日2,100円  
放流券とのセット券2,800円  
チケット販売開始 6月7日(土)~  
問い合わせ ☎070-6509-8626(大阪七夕バル事務局)  
◎詳細は<http://www.osaka-amanogawa.com/>

また、7月5日(土)からは天満橋周辺の約50店舗を食べ歩き「大阪七夕バル」も実施される。合わせてじっくり楽しもう。(大迫力・本誌)

圧倒的な火力で、一気に仕上げる。料理が目の前に運ばれてくるまでのスピード感、中国料理の魅力の一つだろう。実はそのスピードは、厨房での仕込みに十分な時間をかけることによって生まれていることを「大湖 コントンポラン」の料理長・中渡瀬住和さんが教えてくれた。

例えば店の代表的な料理の一つ、伊勢海老の半身を使った豪快な炒飯。この料理に使われるXO醬は、こちらの自家製。干し貝柱、小海老、ハムなど13種類の高級食材を、油の中で1時間ほど炒め煮にする。一つ一つの食材の旨みが凝縮されたこの醬があるからこそ、シンブルに料理することができ、味に奥行きが出るのだ。

あるいは刺身でいただくフカヒレも同じ。乾燥したフカヒレをさっと湯通しし、それを1時間ほど蒸した後、一旦寝かせる。これを数回繰り返すことで、なめらかな



上/大湖名物の伊勢海老三味の炒飯は3,500円、ネギと生姜のさっぱりしたソースでいただくフカヒレの刺身は4,000円(※値段はすべて税込み)。左/手間がかかるため、なかなか他では味わえないライチのプリンは上品な味と香りで、料理長自慢の一品。

## 中国料理の奥行きを生む、スピードと手間暇。

【大湖 コントンポラン】 ●中国料理

口当たりの中に適度な食感がある絶妙のやわらかさになる。この下ごしらえのためにかかる時間は約3日。それを食べられるのは3日間くらいだというから、とても贅沢だ。

6月いっぱいには、コース料理のデザートとしてライチのプリンが楽しめる。種をとったライチの実を、ミキサーにかけてから、裏ごしする。こうすることで雑味をなくし、ライチの自然な甘さを活かしたプリンができる。

素材を活かすためにいかに時間をかけるかを話す時の中渡瀬さんは、実に楽しそうな表情だ。



「入ってこられる時は普通の顔をしていたお客さんが、店を出る時に笑顔になっているのを見ると嬉しくなりますね」

手間と時間を惜しまないという哲学と、それによって生み出されるライブ感、中国料理の醍醐味が、70種類以上の料理すべてに貫かれている。

祝祭へようこそ。

FESTIVAL  
PLAZA

<http://festivalplaza.jp/>  
提供/株式会社 朝日ビルディング



たいこ  
大湖 コントンポラン  
●中之島フェスティバルタワー 2F

中国各地の伝統的な料理法に学びながら、現代的なアイデアや技を取り入れた「新感覚中国料理」。ランチメニューには、四川担々麺が人気の麺セット(980円)ほか、手作りの点心セット(1,300円)、しっかり食べたい人向けのビジネスセット(1,300円)も。アラカルのほか、コース料理(6,000円〜)や美食プランも。予約・問い合わせは鈴木店長まで。☎06-4708-3415 11:00AM~4:00PM(LO 2:30PM) 4:00PM~11:00PM(LO 9:30PM) 無休

# 大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、  
みんな「島民」です！



## 『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 [書店] 旭屋書店 梅田地下街店/カベラ書店/紀伊國屋書店 梅田本店/紀伊國屋書店 グランフロント大阪店/紀伊國屋書店 本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/ジュンク堂書店 梅田ヒルトンプラザ店/ジュンク堂書店 天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/スタンダードブックストア/天牛塚書店 大江橋店/ブックファースト 淀屋橋店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 [公共施設・大学関連施設など] アイスボット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪中央公会堂/大阪市立中央図書館/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪リバーサイドキャンパス/国立国際美術館/CITY NAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス [店舗・医院など] アリアスカ マーブルトレ/アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前料理 志津可/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/大西洋服店/OOO(オー)ノカッタ/喫茶カウンター/喫茶SAWA/クラシック中之島/黒門かき/モモンカフ/サトウ花店 中之島本店/ザ・ロディ/シアルベストコーヒ-新聞電ビル店/じろう亭/Girond's JR/心齋橋山田兄弟歯科/住友病院 センブレパン大阪証券取引所店/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャーノ/バスターレ/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/フレイルムハウス/ミニジロー/宮 崎歯科/やきとりばかや/吉理美容所/ラクカーニャ/LES LESTON
- 大阪市内その他 [書店] 大阪書店/紀伊國屋書店 京橋店/なんばミヤタ/福島書店/柳々堂/ループル書店 [公共施設・大学関連施設など] 大阪社会福祉研修・情報センター/大阪市立図書館/川口基督教会 [店舗・医院など] あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリパール/大阪市信用金庫 江戸堀支店/御舟かもめ/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワナ/バルビコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂 フレスト店/Books 呼文堂/水嶋書房 くずはモール店/大阪狭山市立図書館/大阪大学企画広報社/学運携務室/大阪大学 21世紀徳徳堂/大阪大学本部/寝屋川市役所/摂南大学 地域連携センター/郵政考古学会/ゆったりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンボン/百練/奈良県立図書館情報館

## ◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

## ◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

## 次号予告 手塚治虫が歩いた道。

「マンガの神様」とも称され、今でも根強い人気を誇る手塚治虫は、  
実は中之島と深い縁がある。大作家が実際に訪ね、描いた、場所・人とは。

●『月刊島民』vol.72は2014年7月1日発行です！

編集・発行人/江 弘毅(編集集団140B)

編集・発行/月刊島民プレス

若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 江口由夏 大迫力(編集集団140B)

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341

制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)

デザイン/山崎慎太郎

表紙イラスト/奈路道程

印刷/佐川印刷株式会社

こころまちつくろう  
KEIHAN  
京阪電車

お水がやさしいから  
お酒もやさしい味、  
なんですって。

中之島けい子  
俵見夢百衆



酒蔵 Bar えん



月桂冠大倉記念館



吟醸酒房油長

# おけいはん、伏見酒にポッ

女子もときめく酒蔵の街へ、京阪電車で。



まずは  
ひとくち  
お試しあれ!

おけいはんが伏見を探検!  
フォト日記やエリア紹介マップをweb上で公開しています。

チャレンジおけいはん 検索 [Facebook](#) [@c.keihan](#)

詳しくは、京阪電車主要駅のチラシをご覧ください。

※お酒は二十歳を過ぎてから。飲みに行くなら京阪電車どうぞ。

京阪の  
おけいはん。  
人。